

モダン都市名古屋の形成

中部産業遺産研究会 第14回 パネル展と講演会



パネル展

2018年11月27日(火)～12月9日(日)

開館時間: 10時～17時 火～金曜日は18時まで開館

休館日: 12月3日(月)

講演会

2018年12月2日(日) 13時～17時

開 場: 12時30分

会 場: 名古屋都市センター(金山南ビル内) 11階まちづくり広場

入場無料

共催: 公益財団法人 名古屋まちづくり公社 名古屋都市センター

後援: 名古屋市、愛知県教育委員会、名古屋市教育委員会

写真出典: 左より、電気バスの名古屋乗合自動車(『オールドタイマーNo.120』)、名古屋市庁舎落成記念電飾(『名古屋市庁舎竣工記念寫真帳』) 全国初のセーラー服を着用した金城女学校の寄宿舎生(学校法人金城学院 提供)

モダン都市名古屋の形成



大正期から昭和初期にかけて東京、大阪など一部大都市において、モダン都市と呼ばれる華やかな都市文化が花開きました。モダン都市とは資本主義が発展するなかで成立した洋風文化の受容、消費文化の現出などに特徴づけられた都市形態のことです。2018年度のパネル展では、東京や大阪の影響を受けながら、工業の急速な発展を基に展開した名古屋の都市文化の形成とその特徴について探ってみます。

また、会期中の12月2日(日)には、これをテーマとした講演会と中部産業遺産研究会の公開定例研究会を開催します。

パネル展 11月27日(火)～12月9日(日) 休館日 12/3 (月)

<展示内容>

I 国際貿易都市を目指したまちづくり

大岩勇夫市長、汎太平洋博覧会、石川栄耀の都市計画ほか

II 商業・工業の新展開

松坂屋百貨店の誕生、名古屋観光ホテルの開業ほか

III モダン名古屋の文化

東山動植物園、文化のみち二葉館（旧川上貞奴邸）ほか



講演会 12月2日(日) 13:00～17:00 12:30 受付開始

定員120名先着順

第1部 13:00 開会

基調講演 「モダン都市名古屋の形成」

講師 浅野伸一（会員）

一般講演 「市民市長大岩勇夫の都市経営」

講師 真野素行（会員）

特別講演 「モダン都市名古屋を彩った建築」

講師 瀬口哲夫（名古屋市立大学名誉教授）

第2部 16:20 中部産業遺産研究会 公開定例研究会



会場：名古屋都市センター(金山南ビル内) 11階まちづくり広場

●アクセス JR・名鉄・地下鉄名城線「金山総合駅」南口から徒歩1分

※会場へは公共交通機関をご利用ください。

名古屋市中区金山町1丁目1番1号 金山南ビル

ホームページ: <http://www.nup.or.jp/nui/>

